

2019 年度実施概要

学校名

長野県松本市立芳川小学校

採択活動名

山・川・海をつなぐ環境教育

取り組みの概要

地域の特色を生かした持続可能な海洋教育をめざして

地域を支えてきた川や堰は、先人の願いによって作られたこと、水の循環によって海とつながっていることを知り、先人の工夫や努力・水資源の大切さに気付いていく学習

学習内容

校内研究に位置づけ、4 学年に焦点をあてて学習内容を立案。

(a)きょうどのはってんにつくす ～四ヶ堰と百瀬三七～（4 年生）

- ・地域の生活や農業を支えた用水路「四ヶ堰(しかせぎ)」の教材化
- ・水の取得に苦勞した芳川地区の歴史や四ヶ堰工事の困難さと百瀬三七の思い
- ・「芳川」の由来（四つの村に水を供給した四ヶ堰にちなんだ命名）や校章へこめられた願い
- ・四ヶ堰の見学（バスを使用。取水口、緩やかな水流をつくる「段」、7メートルの深堀、4 地区に平等に分水する円筒分水口の工夫）

(b)住みよいくらしをつくる（4 年生）

- ・社会科「水はどこから」を中心に、水の循環やきれいな水をつくる施設について、本山浄水場、宮渕浄化センター等の見学も行いながら学習した。
- ・善知鳥峠の分水嶺見学。太平洋と日本海に水が分かれる地点に立ち、海までのつながりをイメージしながら、上流に住む自分たちが下流や海辺の人たちのためにできることに目を向ける。

(c)その他学年の活動

- ・高学年につながる体験活動 ～ふねをつくろう～（2 年生・生活科）
- ・教科との関連 ～流れる川のはたらき 奈良井川学習～（5 年生・理科）

来年度の構想について

海洋環境の問題について学び、海への意識をさらに高める内容を検討していく

活動中の写真



分水嶺

実施単元名

1. きょうどのはってんにつくす ～四ヶ堰と百瀬三七～（4 年生・社会、総合）
2. 住みよいくらしをつくる（4 年生・社会、国語）